

平成 22 年 10 月 29 日

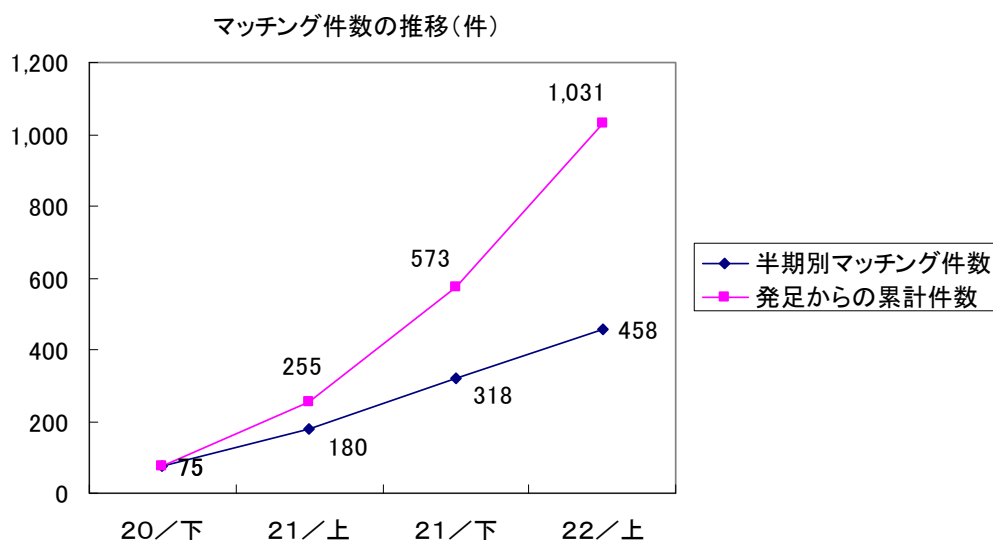
株式会社日本政策金融公庫

平成 22 年度上半期マッチングサービスの取組実績について
～上半期のマッチング実績は 458 件、日本公庫発足から累計 1,000 件突破～

日本政策金融公庫（略称「日本公庫」）は各事業が持つ融資ノウハウ（専門性）やネットワークを融合したシナジー効果を発揮し、農商工等連携などによる新ビジネス創出や販路開拓等を支援するマッチングサービスを推進しています。

平成 22 年度上半期（4 月～9 月）の取組実績

◆ 上半期のマッチング取組件数、前年同期比 2.5 倍の 458 件



日本公庫の各事業が連携して取り組むマッチングサービスの平成 22 年度上半期取組件数は計 458 件で、前年同期の 180 件を大きく上回りました。また、累計では平成 20 年 10 月の日本公庫の発足から 1,031 件となりました。

大幅に増加した背景は、日本公庫主催による商談会形式のイベントを東京など大都市圏だけではなく、鳥取県、宮城県など全国各地域でも推進したためです。また、効果的に引き合わせを行った結果、同イベントを通じた紹介が、全体の約 8 割を占めています。

お客様の希望内容は、「新たな販売先の確保（販路開拓）」が約 5 割、「地域農産物等の仕入先の開拓（仕入先開拓）」が約 4 割、農商工連携等による「新商品や新技術の開発に伴う連携企業の紹介」が約 1 割となっています。

こうした日本公庫の各事業の連携によるマッチングサービスは、地域活性化などにつながる取組としても期待されています。

シナジー効果を活かした商談会（今年度の取組事例）

〈事例 1〉

魅力ある地場温泉づくりに向けた商談会（鳥取県）

～鳥取県内初の事業連携による商談会～

鳥取県の^{みささちょう}三朝町では、^{みささ}三朝温泉を中心とした観光産業が地域の主要産業のひとつとなっています。日本公庫は、^{みささ}三朝地区の地域の活性化に向け、温泉旅館のニーズを事前に調査し、温泉旅館が目指す“魅力ある旅館づくり”を支援するため、6月4日に温泉旅館7社と地場の食品業者、レンタカー業者など5社との引き合わせを行いました。

当日は、冒頭に日本公庫から温泉旅館の経営戦略の有効事例を紹介したあと、参加企業から温泉旅館に対してプレゼンテーションを行い、その後商品サンプルなどを用いた活発な商談が行われました。

〈事例 2〉

全国展開バイヤー招聘による県域を越えた商談会（宮城県）

～バイヤーと地元生産者が直接交流～

販路の拡大は、地元の限られた商圈に留まらず、首都圏や他の地域などへの販売先の拡大がひとつの大きなポイントとなっています。日本公庫は、7月13日・14日の両日に首都圏を中心に約100店舗を展開する電鉄系ストア「東急ストア」や、有機野菜などのインターネット販売を手がける「オイシックス」など3社を仙台に招聘し、農業者、食品加工業者、水産関係業者など41社との引き合わせを行いました。

また、地元農政局や県も視察に来訪し、商談会后、参加者やバイヤーと活発な意見交換が行われました。

〈事例 3〉（最近の事例）

県のイベントと連携した商談会（徳島県）

～県イベントを後援、県と共催でセミナー開催（県と初の連携）～

徳島県において「徳島ビジネスチャレンジメッセ2010（主催：同実行委員会）」が、10月14日から16日にかけて開催されました。日本公庫は、開催の企画段階から県事務局と連携し、本イベントを後援したほか、運営サイドから要望の高かった県外からの出展者募集などを行いました。また、日本公庫と徳島県が共催し、農商工連携をテーマにした講演会（講師：農業ジャーナリスト青山浩子氏）を開催したほか（102名参加）、地元農商工業者による名刺交換会（10社）・個別商談会（22社）を開催しました。

日本公庫が持つ業種的・地理的にも幅広いネットワークを活かした、まさに県と一体となった地域振興の取組となりました。

以上

ご紹介した3つの商談会事例のポイント

<p>開催地域：鳥取県</p> <p>名 称：^{みさき}三朝地区商談会</p> <p>日 程：平成22年6月4日</p> <p>参加社数：12社</p> <p>参加業種：旅館、海産物卸売、ガソリンスタンド・レンタカー、和紙卸売、飲料製造など</p>	<p>⇒ 鳥取県内初の事業連携の商談会</p> <p>⇒ 「魅力ある旅館づくり」にテーマ絞込み</p> <p>⇒ 旅館7社に対し、地元5社がプレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none">・ ガソリンスタンド経営企業から、新たに展開している格安レンタカーを組み込んだ宿泊パック・ 県特産の二十世紀梨の酎ハイ・ 地元特産の^{あおや}青谷和紙を使ったインテリア
<p>開催地域：宮城県</p> <p>名 称：JFC商談会 in 仙台</p> <p>日 程：平成22年7月13・14日</p> <p>参加社数：44社（バイヤー含む）</p> <p>参加業種：食品小売、酒造、水産加工、養豚、和菓子製造など</p>	<p>⇒ 県外からの大手バイヤー3社と生産者・製造業者が直接交流</p> <p>⇒ 商談のみならず、バイヤーから参加企業41社に対し、最近の消費者ニーズや消費者にアピールするための製品包装の改善点など、商談の範囲を超え今後の商品開発につながるアドバイス実施</p>
<p>開催地域：徳島県</p> <p>名 称：徳島ビジネスチャレンジメッセ2010（主催：同実行委員会）</p> <p>日 程：平成22年10月14～16日</p> <p>参加数：延べ37,000名（イベント全体）</p> <p>参加業種：製造、小売、農業、各種団体など</p>	<p>⇒ 県のイベント（ビジネス見本市）と初の連携</p> <p>⇒ 県外からの出展20社のうち16社が日本公庫の呼びかけ（日本公庫のお客さまネットワーク）</p> <p>⇒ 日本公庫・徳島県共催による農商工連携セミナー（102名出席）、個別商談会（22社）を開催</p>